

新しい地域公共交通網形成計画の策定はどのように進めるのか

答弁：住民の皆さんと密接に関係しながら作り上げたい



宮田 好夫 議員

- ・災害・防災対策について
- ・消費税増税について
- ・幼児教育の無償化について
- ・町内会支援事業について
- ・地域公共交通網形成計画について

ケーブルテレビネットワーク光化促進事業について

宮田 災害時などに確実かつ安定した情報伝達を確保するために、ケーブルテレビネットワークの光化を推進するとある。災害時の情報伝達手段として指定避難所にケーブルテレビを設置すべきではないか。

総務部長 現在、避難所についても検証作業を進めていて、どこへテレビをつけていけばいいのかもあわせて考えていきたい。

地域公共交通網形成計画について

宮田 新しい計画を作る予算が組まれている。どのように進めて行くのか。

市長 平成32年の改定に向け、アンケート調査や聞き取り調査、地域での説明会などで意見を聞きながら行いたい。

宮田 市民がどこに住もうとも公共交通は確保され、安心して暮らせる施策を展開すべきであるがどうか。

市長 外出機会を確保することも公共交通の使命だと考える。バス事業者やタクシー事業者の方々の協力をいただきながら、市全体の公共交通網を考えていく。

財政健全化に向け、有休市有財産の利活用を考えるべき

答弁：売却を基本とする。貸し付けにより、管理経費の軽減を図りたい



森田 仲一 議員

- ・遊休公共施設および公共財産の有効活用について
- ・農業振興について

被災後の財政健全化について

森田 遊休化している施設および土地の活用を考えるべきでは。

総務部長 遊休財産においては、一般財源の負担を軽くするために売却を基本とするが、貸し付けをすることにより管理経費の軽減を図っていききたい。新年度予算においては、遊休施設の売却や解体しての更地売却で1億円余りの財源確保に努めていきたい。

森田 市有林、財産区有林、土地開発公社所有地の活用も検討すべきではないか。

産業経済部長 市有林については、主伐売却や収入間伐での売却収入を見込んでいる。財産区については、保安林等で活用が難しい

小規模農家の振興策について

森田 大多数を占める小規模農家を守ることに地域活力の増進と国土保全につながる。高齢、小規模農家の振興策と6次産業化に向けた考え方はどうか。

市長 国の国土強靱化計画の内容を見据える中で対応していく。

産業経済部長 6次産業化については、活性化に向けて有効と考えている。行政としてできる支援は引き続き対応していく。加工施設は、今後の検討課題である。

トイドローンはこの学校で使用するのか

答弁：これから校長会などと相談して決める



石井 聡美 議員

- ・STEAM教育について
- ・ペットについて

新学習指導要領への対応について

石井 2020年から始まる新学習指導要領で、小学生のプログラミング教育が必修化されるが、対応は進んでいるのか。

教育長 プログラミング教育を含めたICTの研究を、平成29年度、30年度に3校で実施している。30年度には全ての学校でWi-Fi環境を整え、来年度にはタブレットや電子黒板をおおむね全校に配置できる。創造的な学習のきっかけづくりとしてトイドローンを使ったプログラミング学習にも取り組む。



市独自のペット条例を作っているかどうか

石井 ペットの飼い方や責任、災害時の対応などを定めた条例を市独自で作ってはどうか。

市民生活部長 ペットを飼う時は最後まで面倒を見る覚悟が必要。県は条例に基づいて動物愛護センター業務や啓発、相談業務を行っている。市も県と連携して、今後もこれまで以上に啓発活動を図っていききたい。

下原の旧鶴鳴保育園跡地を、公園として活用してはどうか

答弁：基本的には、売却を検討しているが、今後、地元の見聞きながら進めていく



黒川 康司 議員

- ・養護老人ホーム成羽長寿園・成羽こども園整備に伴う旧施設の跡地活用について
- ・旧鶴鳴保育園駐車場への旧成羽美術館顕彰碑の設置について
- ・地域公共交通について

黒川 養護老人ホーム成羽長寿園・成羽こども園の整備に伴う旧施設の跡地について、基本的には売却の方向で進めると説明を受けたが、特に下原地区にある旧鶴鳴保育園跡については、以前から公園として整備してほしいという地元意見があったと思う。再度検討する余地はあるのか。

市長 基本的には、売却を検討しているが、公園としての活用という地元の要請があることは承知している。今後、地元のご意見を聞かせてもらいながら進めていきたい。

黒川 旧鶴鳴保育園の駐車場として活用していた場所には、戦後間もない昭和28年、児島虎次郎の郷土である旧成羽町に、当時まだ全

国的に類を見ない公立美術館が先人達の労苦により建設された。そして今の美術館に引き継がれている。また、平成24年に老朽化や保育園の駐車場確保のために解体されたが、先人たちの労苦を忘れることなくその歴史を次の世代へつないでいくために、顕彰碑の形で残すべきだと思うが、市の見解を問う。

市長 顕彰碑については、いろいろな設置の手法などがあり、今後、ご相談させていただきながら進めていきたい。